


# 2023年3月期決算 ご説明資料

 ユシロ化学工業株式会社

TYO 5013

2023年5月31日



YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.

# INDEX

## 2023年3月期 決算業績概要 Results

決算サマリー（2023年3月期連結実績）	4
2023年3月期 実績（連結）	5
2023年3月期 業績概要（連結）	6
2023年3月期 営業利益（連結）増減要因分析	7
海外連結子会社売上高（現地通貨）アメリカ・ブラジル・メキシコ・中国	8
海外連結子会社売上高（現地通貨）タイ・インド・マレーシア・インドネシア	9
貸借対照表（連結）	10
キャッシュ・フロー計算書（連結）	11
株主還元	12

## 2024年3月期 業績予想 Forecast

業績に影響を与える指標	14
2024年3月期 業績予想（連結）	15
2024年3月期営業利益（連結）増減要因分析	16
中期経営計画進捗状況	17
洗濯槽クリーナーの販売推移	18
光触媒の事業化	19
機能性向上添加剤	20
自己修復性素材の販売実績	21

新製品（環境対応製品）について	22
ユシログループのサステナビリティ基本方針	23

## 《参考資料》 Appendix

会社概要	26
ユシログループ 国内外ネットワーク	27
財務データ推移	28

# 2023年3月期 決算業績概要



Results



©2023 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.  
All Rights Reserved.

# 決算サマリー（2023年3月期連結実績）

## 売上高

主要得意先である自動車メーカー等での生産が半導体供給不足の影響で本格回復には至らないものの、国内外で生産回復が続いており、前期比24.2%増の46,794百万円。

## 経常利益

前期に計上した助成金収入、為替差益がなくなり、当期は為替差損を計上したことで、前期比6.5%減の1,442百万円。

## 営業利益

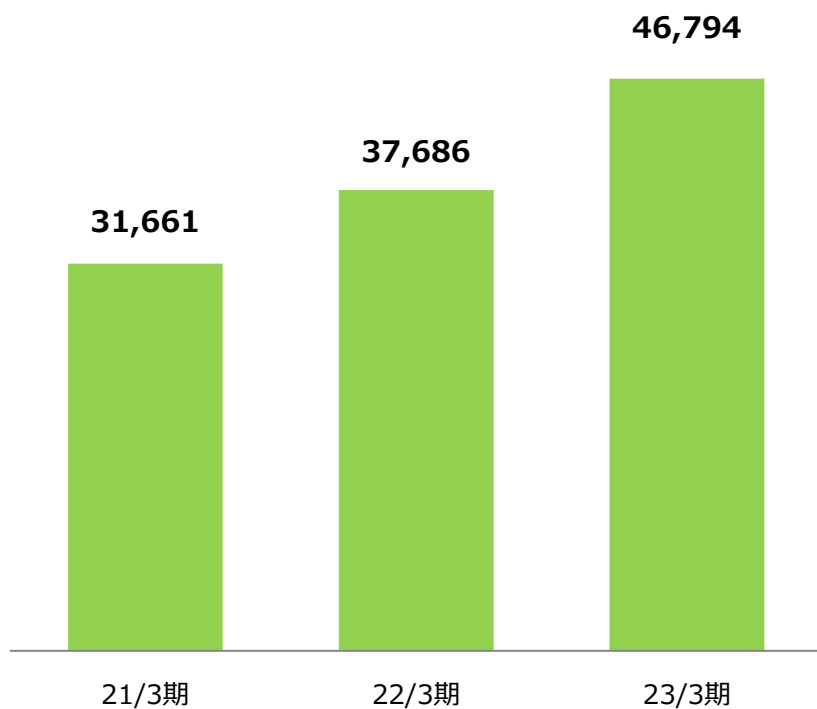
原材料価格が高騰したものの、価格転嫁、採算改善活動に取り組み、前期比17.4%増の1,049百万円。

## 親会社株主に帰属する当期純利益

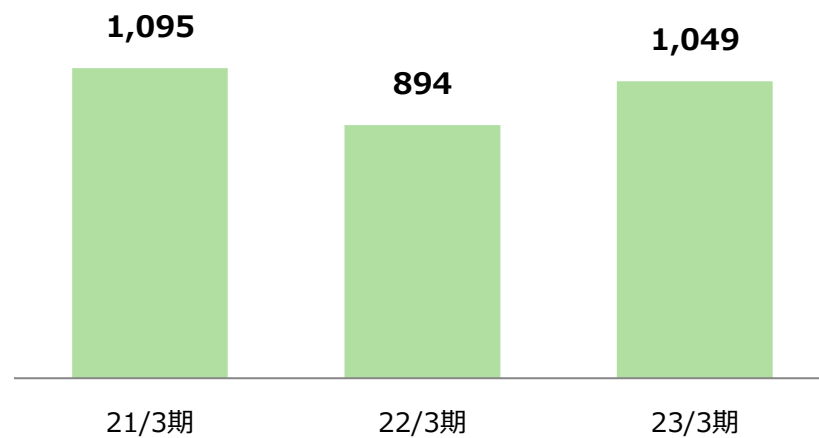
関係会社出資金評価損を計上したものの、固定資産売却益と投資有価証券売却益を計上したことで、前期比229.2%増の898百万円。

# 2023年3月期実績（連結）

売上高（百万円）



営業利益（百万円）



# 2023年3月期業績概要（連結）

(百万円)

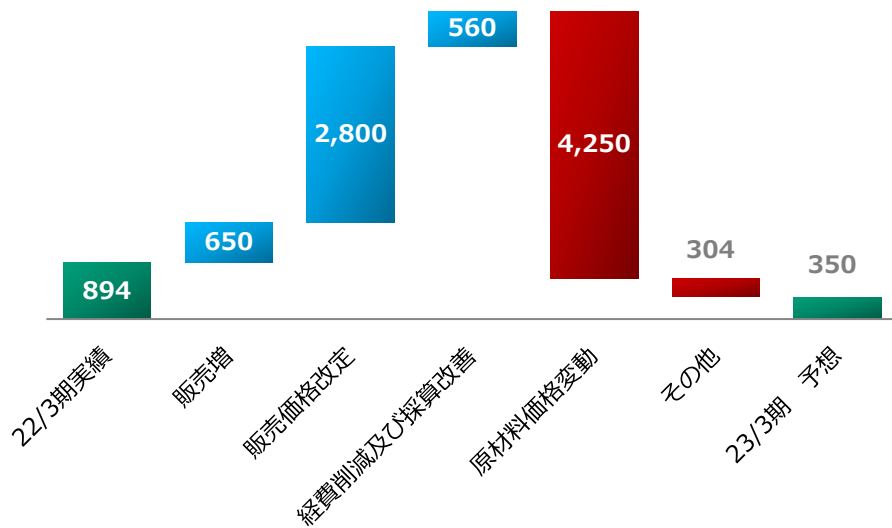
	22/3期	期初業績予想	修正業績予想 (2023年5月8日開示)	23/3期 実績	前期比	
					増減額	増減率
売上高	37,686	45,540	46,790	46,794	+9,108	+24.2%
営業利益	894	350	1,040	1,049	+155	+17.4%
経常利益	1,543	790	1,440	1,442	△100	△6.5%
親会社株主に帰属 する 当期純利益	273	160	890	898	+625	+229.2%

# 2023年3月期 営業利益（連結）増減要因分析

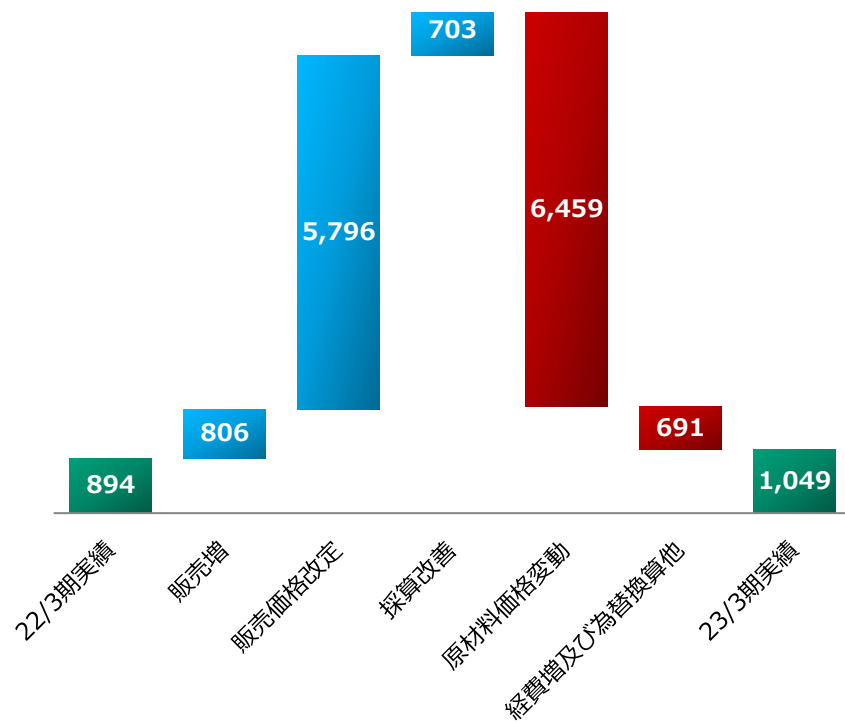
- 当初予想に比べ、原材料価格は高騰したものの、販売価格改定と採算改善を進めたことで、増益となった。

当初予想（百万円）

※2022年8月5日開示



実績（百万円）



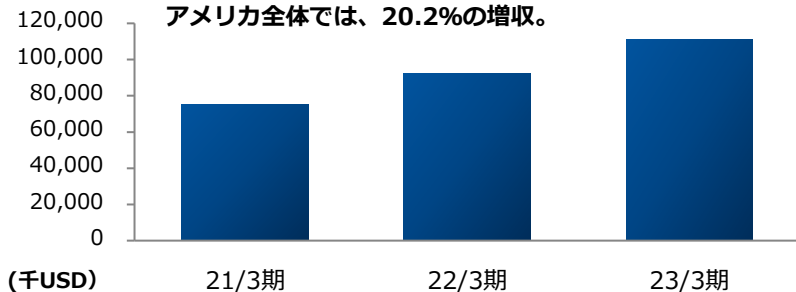
# 海外連結子会社売上高（現地通貨） アメリカ・ブラジル・メキシコ・中国

## アメリカ



アメリカ・ユシロは得意先である日系自動車メーカーの稼働減の影響はあったが、販売価格の改定を進めたことで、前期比12.7%の増収。好調な販売と販売価格の改定を進めたクオリケムInc.は前期比24.4%の増収。

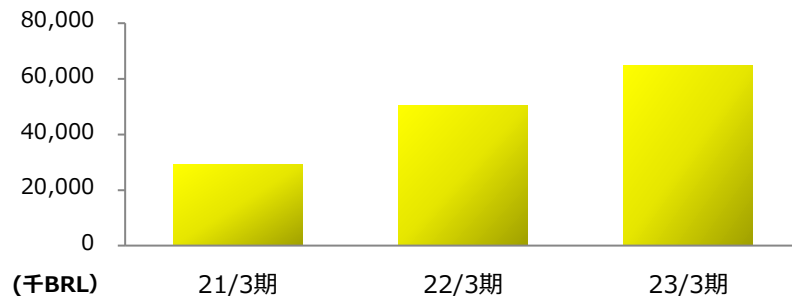
アメリカ全体では、20.2%の増収。



## ブラジル



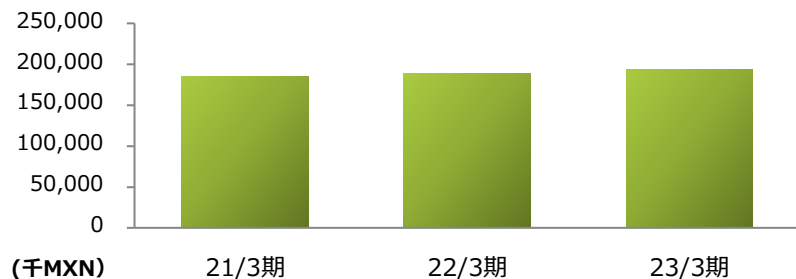
顧客の稼働は好調に推移。販売価格の改定も順調に進み、前期比29.0%の増収。



## メキシコ



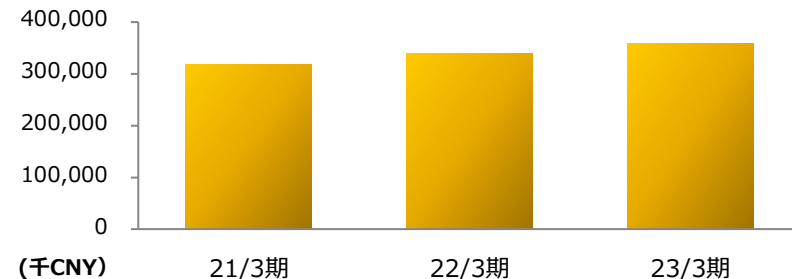
得意先である日系自動車メーカーの稼働率回復が遅れたが、販売価格の改定が進み、前期比2.8%の増収。



## 中国



ロックダウンの影響があったものの、売上高は6月以降好調に推移し、前期比5.8%の増収。



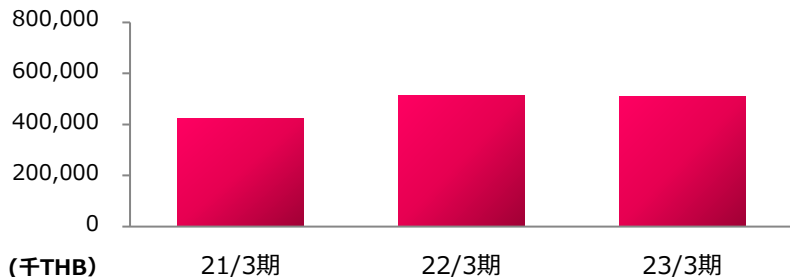


# 海外連結子会社売上高（現地通貨） タイ・インド・マレーシア・インドネシア

## タイ



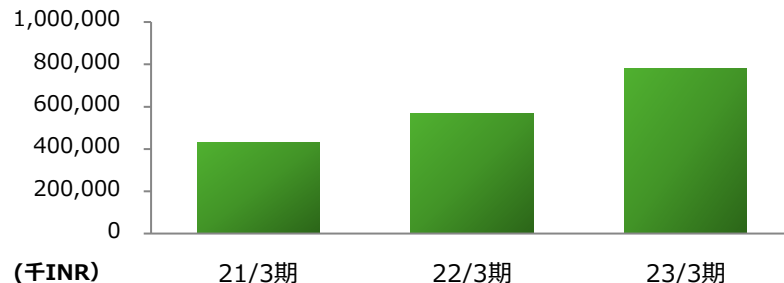
得意先である日系自動車メーカーの生産は回復傾向にあるが、販売価格の改定の遅れにより、前年並みの売上高に留まる。



## インド



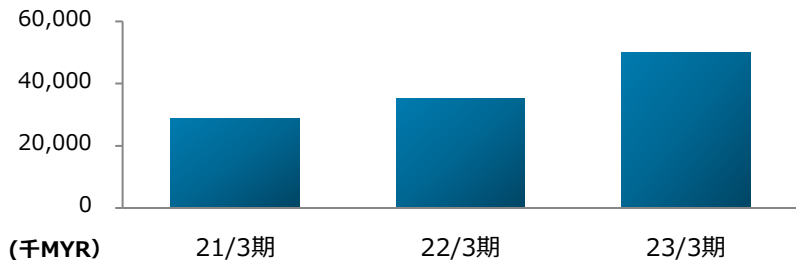
得意先である日系自動車メーカーの生産は好調に推移。販売価格の改定も進み、前期比37.5%の増収。



## マレーシア



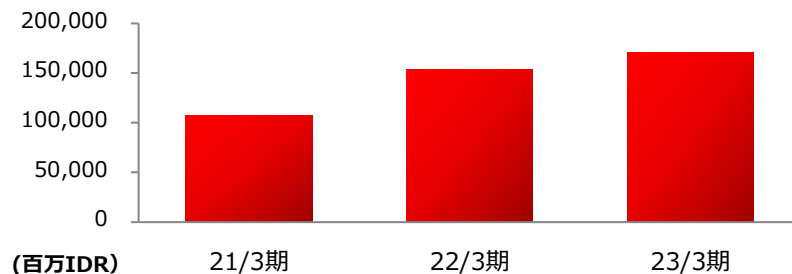
得意先である自動車メーカーの生産は好調に推移。販売価格の改定も進み、前期比40.1%の増収。



## インドネシア



販売価格の改定の遅れはあるが、得意先である日系自動車メーカーの生産は好調に推移し、前期比 11.1%の増収。



## 貸借対照表（連結）

- 資産は、売上高増加により受取手形及び売掛金が増加。
- 負債は、原材料価格高騰と売上高増加に伴い、支払手形及び買掛金が増加。
- 純資産は、円安により為替換算調整勘定が変動したことで増加。

(百万円)

	22/3期末	23/3期末	差額
資産合計	51,085	56,283	+5,197
負債合計	17,216	19,298	+2,081
純資産合計	33,868	36,984	+3,116

## キャッシュ・フロー計算書（連結）

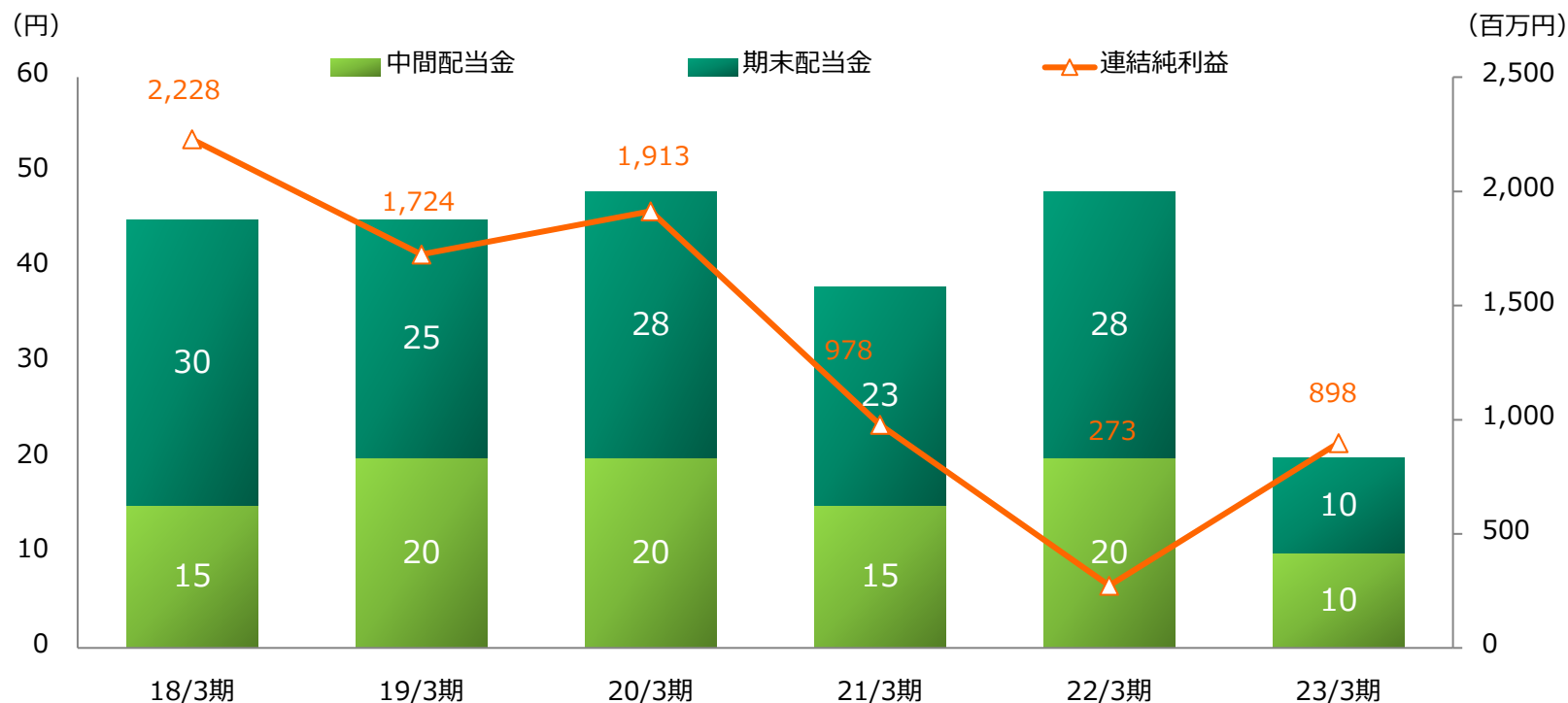
- 営業活動によるキャッシュ・フローは、棚卸資産の増減等により変動。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の売却による収入等により変動。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加等により変動。

(百万円)

	22/3期末	23/3期末	差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	294	174	△119
投資活動によるキャッシュ・フロー	△733	59	792
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,424	△83	1,340
現金及び現金同等物に係る換算差額	487	485	△1
現金及び現金同等物の増減額	△1,376	636	2,012
現金及び現金同等物の期首残高	8,067	6,691	△1,376
現金及び現金同等物の期末残高	6,691	7,327	636

# 株主還元

- 配当性向を30%以上とし、投資とのバランスを考慮しながら安定的な配当を目指します。



配当性向 (連結)	27.4%	35.4%	34.1%	52.8%	239.2%	30.3%
純資産配当率 (連結)	2.1%	2.0%	2.2%	1.7%	2.1%	0.8%
1株当たり 配当金	45円	45円	48円	38円	48円	20円

# 2024年3月期 業績予想

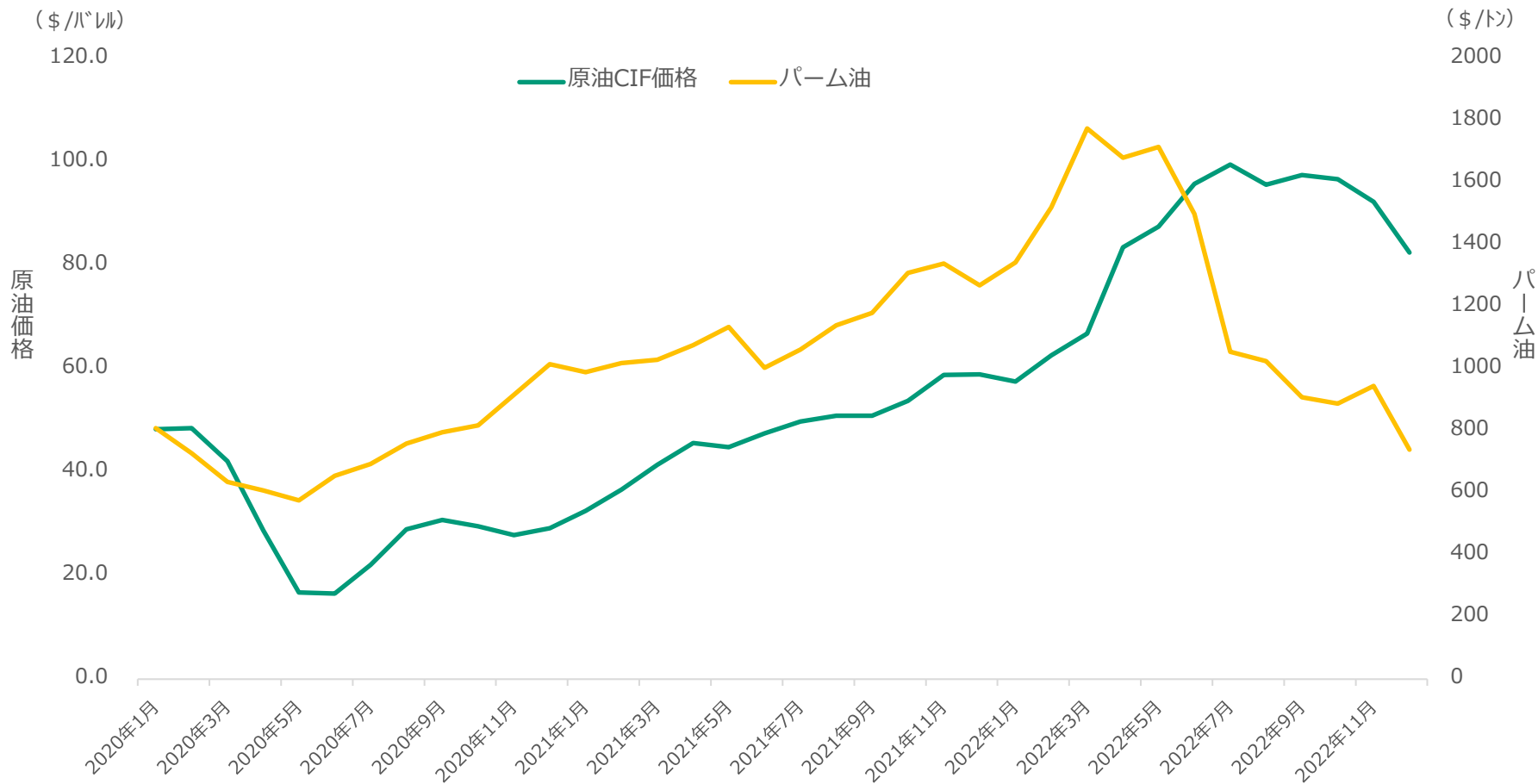
Forecast



©2023 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.  
All Rights Reserved.

# 業績に影響を与える指標

- 世界的なインフレによる物価上昇
- 原材料である原油・パーム油の価格は下落傾向にあるものの、価格フォーミュラの期ずれによってコスト上昇による影響が継続



## 2024年3月期 業績予想（連結）

- 売上高は、自動車メーカーの生産回復と前期販売価格改定未達分の交渉妥結を見込み、増収を予想。
- 利益面は、原材料価格変動のリスクはあるが増収効果及び価格改定により増益を予想。

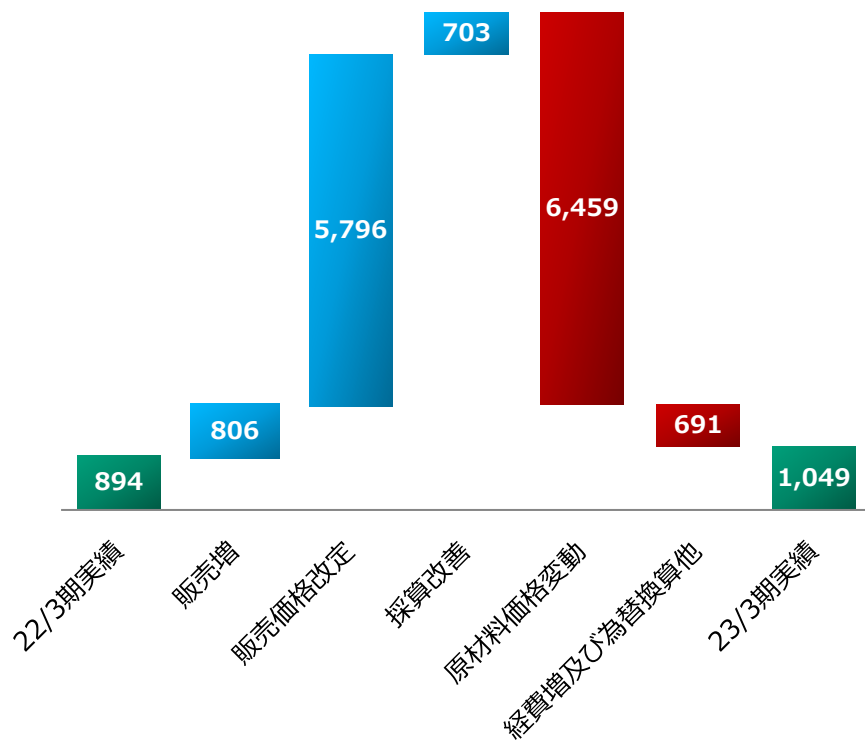
（百万円）

	23/3期実績	24/3期予想	前期比	
			増減額	増減率
売上高	46,794	51,500	4,705	10.1%
営業利益	1,049	2,020	970	92.4%
経常利益	1,442	2,380	937	65.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	898	1,650	751	83.6%

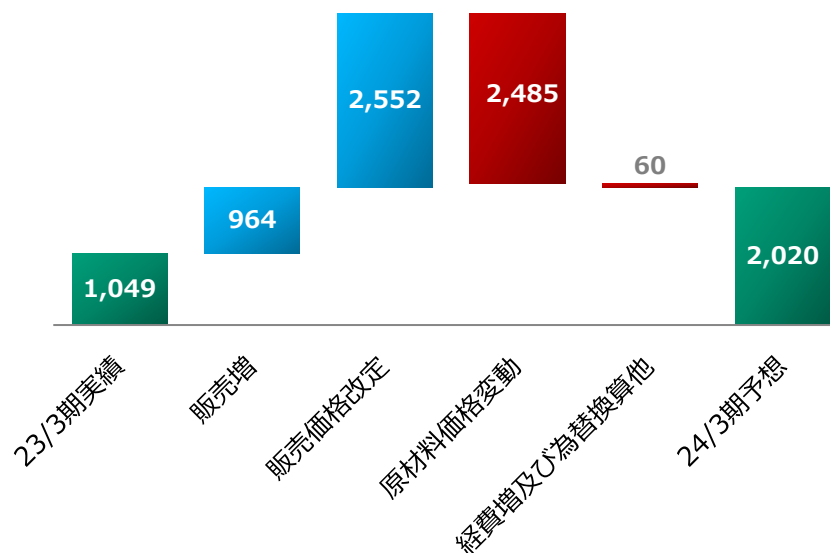
# 2024年3月期 営業利益（連結）増減要因分析

- 原材料価格変動のマイナス要因はあるものの、自動車生産台数の回復に伴う販売増及び販売価格改定により、増益を見込む。

実績（百万円）



予想（百万円）





## 中期経営計画進捗状況

- 売上高は原材料価格高騰に対応した販売価格の改定に加え、想定より円安に推移しているため、目標を上回る予想。
- 利益面は販売価格改定が原材料価格上昇に追い付かず、目標を下回る予想。

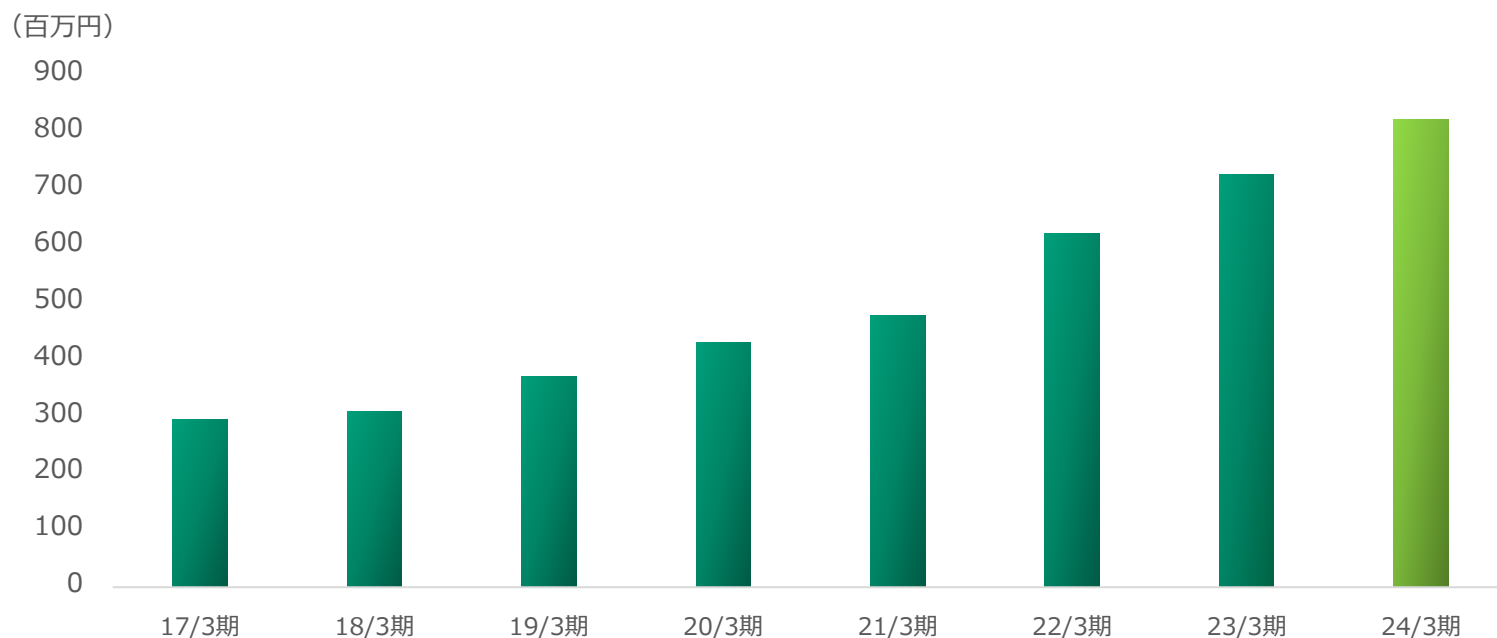
(億円)

	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	2024年3月期 中計目標	2024年3月期 予想vs目標
売上高	316	376	467	510	400	+110
営業利益	10	8	10	20	31	△11
経常利益	15	15	14	23	35	△12
当期純利益	9	2	8	16	23	△7
ROE	3.3%	0.9%	2.7%	4.7%	8.0%	△3.3%
為替(JPY/USD)	106.67	109.84	130.77	132.00	104.00	+28.00

# 洗濯槽クリーナーの販売推移

- コロナ禍による在宅が増加し衛生面への関心が向上したため、売上高は順調に推移。
- 家電メーカーが業界全体で洗濯槽クリーナーの認知に注力しており、業績の底上げに期待。
- コロナは収束に向かいつつあるが、衛生面に対する意識が維持されることでリピート需要に繋がると予想。

洗濯槽クリーナーの売上高実績・計画



# 光触媒

- 当社開発のビタミン系光触媒をもとに、新製品の開発や新市場の開拓を進める。

## 新市場開拓

### 新規市場×ジェンタミン®

ジェンタミン®を活用し、新市場の顧客課題・ニーズを満たした新商材・新収益モデルを開発中

想定市場：アグリ関連、水処理関連など

## 新製品の開発

### 既存事業×ジェンタミン®

既存事業の新たなニーズに対応  
ジェンタミン®を実装した光触媒消臭剤「ぴきゃみん®」リリース（2022年8月）

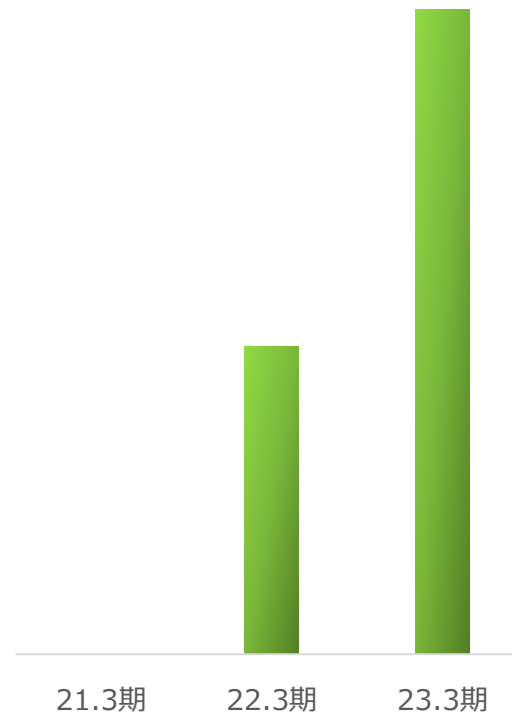


## 当社ビタミン系光触媒

光触媒添加剤ジェンタミン®のラインナップを構築



販売件数※



※試作品含む

# 機能性向上添加剤

- 自己修復性素材で培った技術を活かし、顧客のベース材料の機能を向上させる添加剤を開発。
- 顧客の商品付加価値を向上させるとともに、新たな分野・用途での活用が期待できる。

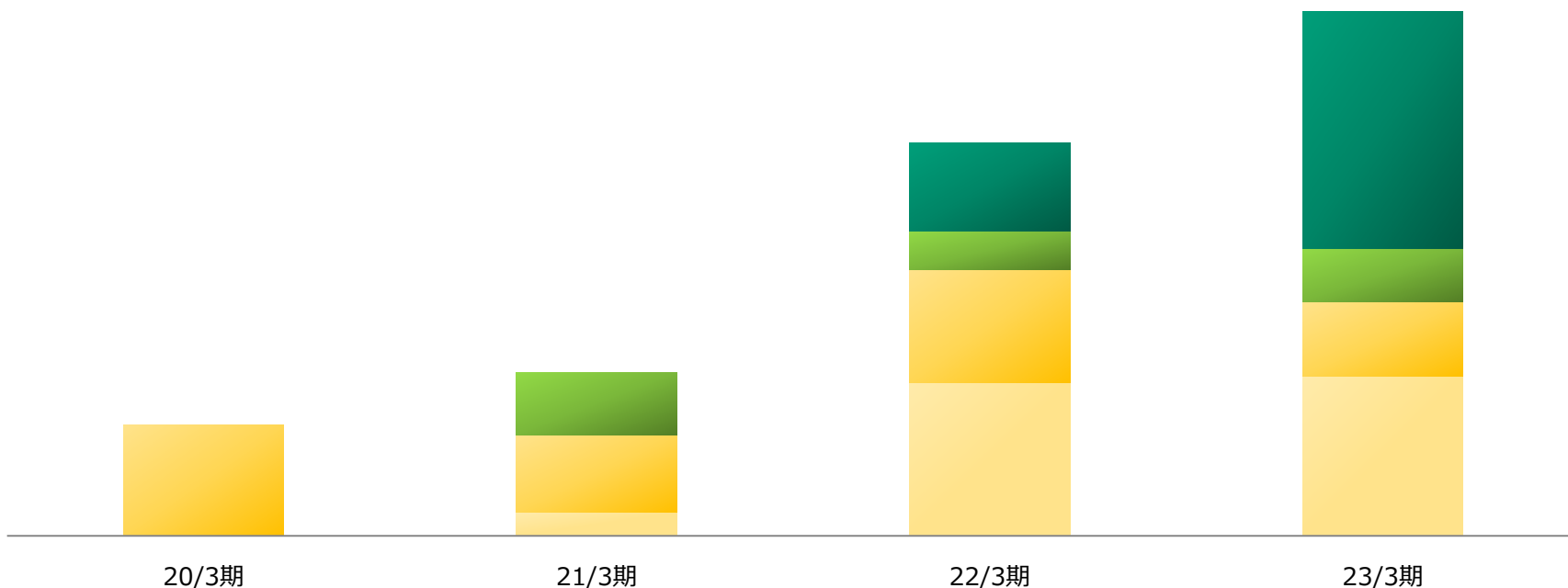
	機能性向上添加剤
製品	
特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 樹脂メーカーや成型メーカーなどの顧客が使用する既存材料に添加することで、<b>新たな付加価値を付与</b></li><li>・ <b>強度と伸びを両立した機能向上</b></li><li>・ <b>自己修復性を付与</b></li></ul>
用途	<ul style="list-style-type: none"><li>・ アクリレート樹脂への自己修復性付与・強靱化</li><li>・ ゴム材料の寿命延長</li><li>・ ポリスチレンの強度向上</li></ul>

# 自己修復性素材の販売実績

- 自己修復材およびシクロデキストリン誘導体のラインアップ拡充により、売上高は順調に推移。
- 特に機能性向上添加剤は、既存の樹脂の強度向上が期待できるため、引き合いが増加。

自己修復性素材の売上高実績

■モノマー ■ウィザードゲル ■ウィザードエラストマー ■機能性向上添加剤



# 新製品（環境対応製品）について

## 水溶性切削油剤・REVOSシリーズ

金属加工時に発生する水溶性ミストを  
約50%低減

**ユシロケム**  
**REVOS** Series

作業環境の改善

電力消費量削減

## ユシロクリーナー PCW562

液切れ性能向上により、加温洗浄工程の  
洗浄温度の低温化を可能に

**ユシロクリーナー-PCW562**

電力消費エネルギー削減

CO<sub>2</sub>排出量削減

サイクルタイム短縮

主な販売先：自動車メーカー及び部品メーカー

# ユシログループのサステナビリティ基本方針

ユシログループ創業以来の企業理念「共々の道」。

それは、ユシロとお客様・お取引先様・地域社会・株主様・社員とその家族と共生し、深い信頼関係を築いていこうとするものです。

この理念で事業を通じて持続可能な社会への貢献と自社の中長期的な企業価値の向上を両立します。

## 環境とともに

- ・ カーボンニュートラルへの貢献
- ・ 心地よく、安心できる空間の創造

## 社会とともに、人とともに

- ・ 安全・安心で持続可能な製品・サービスの提供
- ・ ものづくりを通じた社会貢献
- ・ 多様な社員の多様な働き方を推進
- ・ 持続可能なサプライチェーンの構築





## 当資料取扱い上の注意

当資料に記されたユシノの現在の計画・見通し・戦略等のうち歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から得られたユシノの経営者の判断に基づいた、将来の業績に対する見通しであります。従いまして、これら業績の見通しのみに全面的に依拠されることは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

実際の業績に影響を与え得るリスクや不確定な要素には、以下のものが含まれます。

- ①ユシノグループの事業環境を取り巻く世界情勢
- ②世界の原油価格動向
- ③米ドルを中心とした為替レートの変動
- ④偶発事象 等

ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。また、リスクや不確定な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。当資料は、あくまでユシノをより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。



A dynamic splash of clear water against a light blue background, with ripples spreading across the surface.

# 参考資料

A background pattern of light-colored hexagons, some with thin green or purple outlines, creating a molecular or crystalline structure.

## Appendix

# 会社概要

## 会社概要（2023年3月現在）

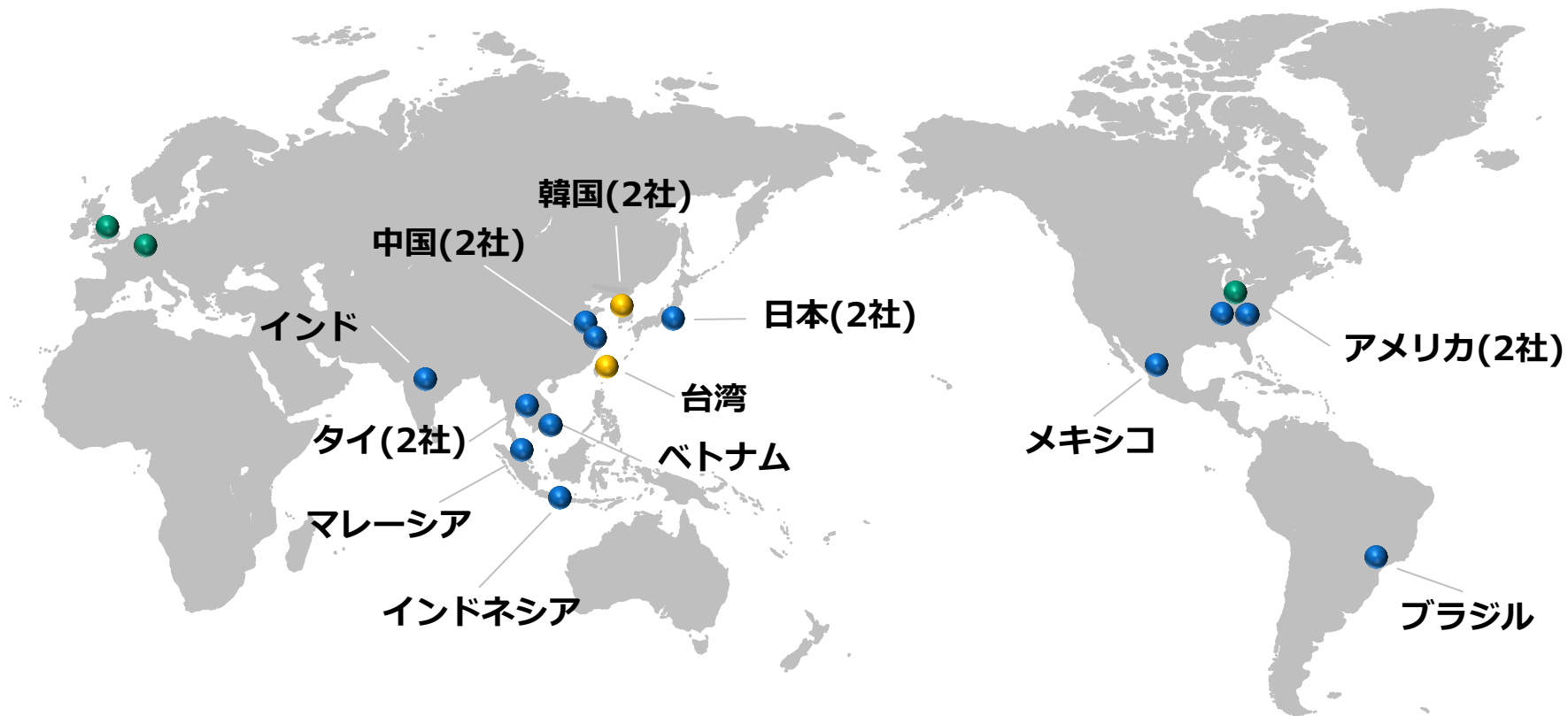
社名	<b>ユシロ化学工業株式会社</b> (英文名称：Yushiro Chemical Industry Co.,Ltd.)
本社	東京都大田区千鳥2丁目34番16号
代表者	代表取締役社長 有坂 昌規
創立	昭和19年7月24日
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金属加工油剤(切削油剤、圧延油剤、引抜油剤、プレス油剤、ダイカスト離型剤、さび止め油剤、洗浄剤等)の製造・販売</li> <li>・ビルメンテナンス製品(フロアメンテナンス用ワックスおよび剥離剤、洗浄剤、メンテナンス用機器)の製造・販売</li> </ul>
資本金	4,249百万円
連結子会社	<p>(国内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユシロ運送株式会社(製品輸送)</li> <li>・ユシロ・ゼネラルサービス株式会社(ユシロ運送の倉庫管理業務)</li> </ul> <p>(海外)</p> <p>北米、南米、アジア地域に合計11社のネットワークを有しています。</p>
従業員数	<p>単体：387名</p> <p>連結：987名</p>

## 海外ネットワーク詳細

地域	国	社名	住所
北米	アメリカ	YUSHIRO MANUFACTURING AMERICA,INC.	米国インディアナ州 シェルビービル市
		QualiChem,Inc.	米国バージニア州セイラム市
	メキシコ	YUSHIRO MEXICO S.A.DE C.V.	メキシコ国 グアナファト州
南米	ブラジル	YUSHIRO DO BRASIL INDUSTRIA QUIMICA LTDA.	ブラジル国 サンパウロ州カサパバ市
アジア	中国	上海尤希路化学工業有限公司	中国上海市宝山区
		如東尤希路化学工業有限公司	中国江蘇省南通市如東県
	タイ	YUSHIRO(THAILAND)CO.,LTD.	タイ国チョンブリ県
	タイ	Siam Cee-Bee Chemical Co., Ltd.	タイ国チョンブリ県
	マレーシア	YUSHIRO MALAYSIA SDN.BHD.	マレーシア国 セランゴール州プチョン
	インドネシア	PT.YUSHIRO INDONESIA	インドネシア国 西ジャワ州カラウン県
	インド	YUSHIRO INDIA COMPANY PRIVATE LIMITED	インド国 ハリヤナ州グルグラム
	ベトナム	YUSHIRO VIETNAM CO.,LTD.	ベトナム国ホーチミン市 *非連結子会社
	台湾	三宜油化股份有限公司	台湾台北市 *持分法適用会社
	韓国	汎字化学工業株式会社 株式会社汎宇	韓国ソウル特別市 *持分法適用会社

# ユシログループ 国内外ネットワーク

- 子(孫)会社 (国内2社、海外11社)
- 持分法適用会社 (海外3社)
- 技術提携会社 (海外3社)



# 財務データ推移

(百万円)

	13/3期	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期
売上高	24,217	26,833	29,061	30,680	29,605	31,565	35,170	37,274	31,661	37,686	46,794
営業利益	881	1,409	1,569	2,169	2,437	2,502	2,076	2,213	1,095	894	1,049
経常利益	1,615	2,285	2,521	2,947	3,017	3,243	2,634	2,718	1,517	1,543	1,442
当期純利益	1,052	1,495	1,703	1,993	1,697	2,228	1,724	1,913	978	273	898